

# 早朝の奄美の森を歩きますか？

## 調査員募集と調査費支援のお願い！

オオトラツグミさえずり調査に参加するボランティア調査員の募集及び調査に必要な資金のご寄付をお願いしております。

オオトラツグミは奄美大島だけに生息している野鳥で、絶滅危惧種Ⅱ類（環境省）に指定されて、いまだ詳しい生態は不明であり生息数も非常に少なく絶滅の危機にさらされています。



オオトラツグミ

奄美野鳥の会では、このオオトラツグミの繁殖個体数の増減を記録しておくために、1994年からさえずり一斉調査を行っており、今回で14回目の調査となります。（調査結果は裏面記載）

この調査には一斉調査（ルートセンサス）と定点調査の二種類があります。

一斉調査は早朝、二人一組で林道を行きに2km、帰りに2kmの往復4kmを歩き、さえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。主な調査対象となる奄美中央林道（奄美市名瀬一字検村）が長いために多くの調査員を必要としています。

定点調査とはあらかじめ決められた地点付近でさえずっている個体の位置を地図に記入していく調査です。この調査も参加者が多ければ奄美大島のいろんな地域をカバーすることができます。

また、この調査資金の寄付のお願いも行っております。調査用具の購入費や調査員の保険料や朝食などの経費に充てるためです。

この調査の意義をご理解頂き、御協力をよろしくお願い申し上げます。



調査説明会（奄美博物館）



一斉調査のようす  
（ルートセンサス）